

地域密着型金融推進計画（平成25年度）

当金庫では「地域密着型金融推進計画」として、コンサルティング機能を発揮した中小企業者や個人のお客さまの金融の円滑化、地域の面的再生への積極的な参画、地域の皆さまへの積極的な情報発信、皆様からのご意見の収集等に取組んでいます。

これらを実践していくために、本部と各営業店が一体で情報の共有化を図るとともに、お客さまの立場にたった適切な経営相談や経営支援等のため、役職員の知識向上に向けた研修会等を充実させています。そのうえでお客さまの声を可能な限り反映し、利便性等の向上に取組み、間柄重視の地域密着型金融の一層の推進を図ってまいります。計画の詳細につきましては、下記の計画内容等をご確認ください。

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|--|--|---|----|
| | | 25年度実績 | |
| <p>1.事業者であるお客さまに対するコンサルティング機能の発揮として、ライフステージ別に取り組む。</p> <p>(1) 創業・新事業開拓を目指す顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・群馬県産業支援機構の活用及び日本政策金融公庫、商工組合中央金庫との連携強化 ・制度融資の活用 ・発明協会との連携強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援センター等の活用やベンチャー企業向け業務に係る外部機関等との連携強化を図っていく。 ・制度融資を積極的に活用していく。 ・地域の発明協会等との連携を強化する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援センターやベンチャー企業向け業務にかかる外部機関等との連携について、平成25年度の取引事例はありませんでしたが、引き続き積極的な対応を行っていきます。また、創業・新事業を目指す取引先に対しての支援として、群馬県産業支援機構を代表機関とした地域プラットフォームへの参加登録の取組みを行い、支援の拡充を図りました。 ・創業・新事業支援は、積極的に県の制度融資を活用しました。結果として16件94百万円の実行となりました。 ・渋川市発明協会主催の渋川広域圏発明くふう展に協賛し「北群馬信用金庫理事長賞」の授与を行いました。 | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|---|--|---|----|
| | | 25年度実績 | |
| <p>(2) 成長段階におけるさらなる飛躍が見込まれる顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチングの実践 | <ul style="list-style-type: none"> ・しんきん会等を介したビジネスマッチングを積極的に進め、お客さまの製造販売商品の販路拡大等を図る。 ・当地域のお客さまと東日本大震災の被災地域との連携、ビジネスマッチングを支援していく。 | <ul style="list-style-type: none"> ・関東信用金庫協会 関東地区しんきん経営者協議会の情報誌の「食品」の製造販売に限定したビジネス情報欄へ、当金庫の取引先を1社掲載しました。(株)イプロスの製造業サイトに当金庫の取引先13社の情報を掲載しました。信金中央金庫企画の電子チラシ「しんきん ニッポンの贈りもの」へ、当金庫の取引先2社の情報を掲載しました。この他、しんきん会において個別にマッチングに取組みました。 ・平成25年度は、東日本大震災の被災地域との連携を重視して職員4名をボランティアとして派遣しました。今後も被災地域との連携、ビジネスマッチングに積極的に取り組んでいきたいと考えています。また、被災した地域の子ども達を支援し、同地域の復興に寄与することを目的として、「きたしん東日本大震災子ども応援積金」を期間限定で取扱いし、岩手県、宮城県、福島県の3基金へ250万円寄附いたしました。 ・経営者塾的な組織の創設等については検討中です。また、9月25日に行われた業界団体主催の各金庫経営者会の交流についての意見交換会に職員1名を派遣し、他の信用金庫役職員と意見交換を行いました。 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・経営者塾的な組織の創設 | <ul style="list-style-type: none"> ・経営者の方への支援策として経営者塾的な組織の創設を検討していく。 | | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|---|--|--|----|
| | | 25年度実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> 異業種交流の研修会への積極的参加 海外進出など新たな事業展開に向けての情報の提供等 外部機関との連携 <p>(3) 経営改善が必要な顧客企業等</p> <ul style="list-style-type: none"> 経営改善が必要な企業に対する取組の強化 | <ul style="list-style-type: none"> しんきん会会員を含め異業種交流研修会の参加への企画立案を積極的に図っていく。 信金中金との連携を強化して海外での事業展開や海外への販路拡大についての情報の提供等を行っていく。 引き続き群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等によりきめ細かにお客さまへのバックアップを行っていく。 農業分野について外部機関との連携を図り、その知見を活用しつつ、より適切なアドバイスができる態勢としていく。 <ul style="list-style-type: none"> 経営目標の実現や経営課題の解決に向け、経営者が主体的に取組むための支援として、本部・営業店が連携して経営改善計画書の策定・再策定支援を地道かつ積極的に取組む。 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度もしんきん会会員を中心に東京ビジネスサミットへの視察を検討していましたが、残念ながら日程の調整がつかず見送りとなりました。 信金中金と連携することにより海外進出支援の態勢を整え取組んでいます。 群馬県サポーターズ制度に参加し、各地域の関係機関との情報共有・情報交換等を行っています。当金庫では、14名のサポーターによる中小企業者の方へのきめ細かな対応やコンサルティング機能の発揮により中小企業者への経営支援等を行いました。 日本政策金融公庫と平成25年10月25日付にて業務協力の覚書及び信用補完契約を結び、アグリローンの取扱いを開始しました。 取扱実績 1件 300万円 <ul style="list-style-type: none"> 金融円滑化法の期限到来後においても、経営改善が必要な顧客企業に対しては、顧客企業の経営目標の実現や経営課題の解決のための支援として、本部・営業店との連携や群馬県中小企業再生支援協議会等の外部機関も活用し、経営改善計画書の策定・再策定支援に積極的に取組みました。 また、「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」に基づき、経営革新等支援機関に認定され | |

| | 具 体 的 取 り 組 み 策 | 進 捗 状 況 | 備 考 |
|--|---|---|-----|
| | | 2 5 年 度 実 績 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な場合は、お客さまの状況をきめ細かく把握したうえで条件緩和に積極的に取り組む。 ・企業の業況を把握し、継続したモニタリングを行いながら、営業店と本部（融資部・経営支援室）が一体となり積極的な経営支援を行う。 ・経営支援により債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンの防止を図る。 ・群馬県中小企業再生支援協議会や群馬県中小企業診断士協会等の外部機関と連携を強化し、関係する金融機関とも連携を図る。 | <p>ています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営改善支援の一環として、貸出条件変更が必要な先について、経営改善計画書策定支援も積極的に行い、実態に合った返済計画への変更を行いました。実績として条件変更債権は745口10,089百万円でした。 ・定期的なモニタリングの実施によりコンサルティング機能を更に発揮し、顧客企業の経営改善に向けたソリューションの提言や営業店を臨店して担当者のスキルアップを図る指導を行い、営業店担当者とともに顧客企業を訪問する等、個社別の問題点の把握に努め、顧客企業の経営改善のための経営支援（23先）に組み込みました。 ・顧客企業を訪問して実態把握に努めることで経営者からの本音を聞き出し、現状直面している問題点を一つ一つ解決することで、債務者区分のランクアップを図るとともにランクダウンを未然に防止すべく努めました。結果、平成25年度は1先のランクアップを図ることができましたが、地域経済の厳しさもあり、3先がランクダウンとなりました。 ・平成25年度において、中小企業再生支援協議会と連携して支援している先は8先あり、また、中小企業診断士協会との連携により支援している先は1先となっています。（群馬県中小企業再生支援協 | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|--|--|--|----|
| | | 25年度実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・大口の設備資金融資先企業等への期中管理の強化 <p>(4) 事業再生や業種転換が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生の早期着手に向けた取組の促進 | <ul style="list-style-type: none"> ・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等については、融資部と経営支援室・資産査定委員会で情報を共有する。計画の進捗状況をお客さまとのヒアリング等により把握し、計画を達成していくため支援を行っていく。 ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、経営再建計画の策定支援を行う。 ・貸付の条件変更等を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会等連携先を活用する。また、取引状況等に応じ第二会社方式での再生やDDS等も検討する。 | <p>議会との連携においては、当金庫がメイン金融機関でない取引先についても、主導して経営改善計画書の策定支援を実施した例もあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大口の設備資金融資先企業、経営改善計画策定先等は、中小企業診断士協会、税理士、経営相談員等からの助言・提言の活用（第三者の知見の活用）の必要もあることから、当金庫でも関係部門で情報を共有し、顧客企業の経営改善に向けて取組みの強化を図りました。 ・抜本的な事業再生や業種転換により、経営の改善が見込まれる企業に対しては、当金庫で抜本的な経営改善計画書の策定支援を行うほか、群馬県中小企業再生支援協議会及び中小企業診断士協会等の外部機関とも連携を図り、事業再生のための経営再建計画の策定支援に努めました。 ・抜本的な事業再生により経営改善が見込まれる顧客企業には、群馬県中小企業再生支援協議会と連携して取組みました。平成25年度で同協議会と連携して取組んだ先の8先のうち、2先が第二会社方式及びDDS等を念頭において対応し、DDSの対応先については、事業再生計画が成立したため、実行しました。 | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|---|--|---|----|
| | | 25年度実績 | |
| <p>(5) 事業の持続可能性が見込まれない顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業の持続可能性の見極め | <ul style="list-style-type: none"> 事業計画に向けた経営者の意欲、経営者の生活再建、当該企業の取引先等への影響など、事業の持続可能性を慎重かつ十分に検討をする。 | <ul style="list-style-type: none"> 事業の持続可能性の見極めについては、経営者の生活再建や当該企業の取引先等への影響なども考慮し、慎重かつ十分な検討を行いました。 | |
| <p>(6) 事業承継が必要な顧客企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業承継を企業の第6のライフステージとして位置付けた取組み 事業譲渡・譲受の積極的な相談業務の取組み | <ul style="list-style-type: none"> あらゆる事業承継のニーズに対応したサービスを行うため事業承継支援センター（群馬県産業支援機構内）等との業務提携により、事業承継ニーズのあるお客さまを紹介するなど、積極的に取組んでいく。また、引き続き㈱朝日信託との連携を図っていく。 しんきんキャピタル㈱等を活用して、ビジネスマッチング・事業承継等の支援を行っていく。(M&A含む) | <ul style="list-style-type: none"> 後継者の有無や事業継続に対する経営者の意向を踏まえて、事業引継ぎ支援センター等との業務提携により適切なソリューションの提言をできる態勢を整えています。また、事業承継のニーズに対応するため、㈱朝日信託の利用をできる態勢を整えています。 経営者の高齢化が進む中、後継者の問題はますます深刻化しており、当金庫ではしんきんキャピタル㈱等を活用してM&Aのマッチング支援や顧問税理士による相続税相談を行いました。また、6月22日には顧問税理士による相続税等についての自主勉強会を行いました。 | |
| <p>(7) 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種制度融資の積極的活用 | <ul style="list-style-type: none"> 担保・保証に過度に依存しない、キャッシュフローを重視した融資を推進していく。 | <ul style="list-style-type: none"> 融資審査において、返済キャッシュフローを算出し、有利子負債償還年数等を考慮して審査を行いました。 | |

| | 具 体 的 取 り 組 み 策 | 進 捗 状 況 | 備 考 |
|--|--|--|-----|
| | | 2 5 年 度 実 績 | |
| <p>・ 経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則とする融資慣行の確立</p> <p>(8) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取り組み</p> <p>・ 人材育成</p> | <p>・ 県制度資金の小規模企業事業資金、群馬県経営サポート資金を積極的に活用していく。</p> <p>・ 市町村小口資金を積極的に活用していく。</p> <p>・ 平成 25 年 3 月に金融円滑化法は終了したが、これまでと同様にコンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給に努める。</p> <p>・ 原則として経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないこととする融資慣行を確立していく。</p> <p>・ 目利き力向上等のための業界団体が行う研修への参加と研修受講者による金庫内研修の実施。</p> | <p>・ 25 年度実績</p> <p>小規模企業事業資金 30 先、176 百万円</p> <p>群馬県経営サポート資金 143 先、2,038 百万円</p> <p>・ 25 年度実績</p> <p>101 先、718 百万円</p> <p>・ 25 年度にコンサルティング機能を発揮し、中小企業に対する円滑な資金供給を行った債権は 407 口 2,196 百万円でした。</p> <p>・ 中小・地域金融機関向けの総合的な監督指針に基づき、経営者以外の第三者の個人連帯保証を求めないことを原則として取扱っています。</p> <p>また、経営者の保証については、「経営者保証に関するガイドライン」に基づく態勢を平成 26 年 2 月に整えました。</p> <p>・ 外部研修へ 61 名派遣し、研修内容を毎月 2 回（4 月、10 月は除く）実施している自主勉強会時に受講者を講師として修得した知識を職員に還元しています。</p> <p>・ 関東信用金庫協会主催の関東地区信用金庫ロールプレイング大会に 2 名の職員が参加し、大会講師より指導を受けた技を、自主勉強会にて職員へ</p> | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|--|---|---|----|
| | | 25年度実績 | |
| <p>2.地域の面的再生への積極的な参画</p> <p>(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・通信講座の受講、検定試験合格による資格取得を積極的に推進する。特にファイナンシャルプランナーなどの資格取得により相談業務の充実を図る。 ・対話力、折衝力強化のため毎月2回（4月、10月は除く）の自主勉強会の実施（現場力の強化、職員のレベルアップ）。 ・渋川市商店街の活性化及び個々の店の販売促進、併せて消費の拡大を図るため渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券への協賛（商品券の換金事務）、販売時の職員派遣を行う。 ・平成26年カレンダーも前年に引き続き地域の名所等をテーマとするよう検討し、地域振興の一助とする。 ・地方公共団体への融資スタンスとして、金額、期間等を勘案し積極的に対応する。 ・地球環境に配慮したハイブリッド車、電気、天然ガス自動車の購入資金については通常金利より優遇して利用者拡大に取組む。また、ぐーちょきパスポート、交通安全協会会員証のいずれかを提示した場合はさらに優遇する対応を継続する。 | <p>還元しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンシャルプランナー2級取得者 47名 通信講座受講者 26名 履修研修受講者 119名 <ul style="list-style-type: none"> ・毎月2回自主勉強会（土曜日）実施（4月、10月は除く） 平成26年3月末 20回開催済 ・平成25年度も、渋川商工会議所から発行されるプレミアム商品券に協賛、販売時には職員を6名派遣しました。換金は当金庫本店営業部、伊香保支店、子持支店、渋川南支店の4店舗で行っています。 ・平成26年のカレンダーについては、近時道路整備等の進んだ群馬県を中心とした地図に採用変更し、地域振興の一助としました。 ・地方公共団体の起債入札に積極的に参加しました。他行の低金利攻勢等もあり6件、2,053百万円の実行となりました。 ・積極的に顧客に紹介し利用推進を図っています。25年度実績として95件185百万円の実行となりました。 | |

| | 具 体 的 取 り 組 み 策 | 進 捗 状 況 | 備 考 |
|--|--|---|-----|
| | | 2 5 年 度 実 績 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための資金について通常金利より優遇するなど普及に努める。 ・渋川広域ものづくり協議会との連携を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ソーラーパネルなど太陽光発電・自然エネルギーによる発電設備を行うための「きたしんリフォームプラン」を用意し、優遇金利を設けています。また、8月24日、9月14日には太陽光発電システムについての自主勉強会を開催し、職員の知識向上に努めました。 25年度実績 きたしんリフォームプラン 18件 63百万円 太陽光発電融資 42件 1,437百万円 ・渋川広域ものづくり協議会の活動等に引き続き協賛していきます。 ・昨年度、価格下落の影響を受けたキャベツ生産農家に対して引続きプロパー融資等により支援していきます。 取扱開始時からの実績 15先 52百万円 ・2月には近年にない大雪の影響を受け、生産農家を中心とした被災された方々を対象に、「雪害対策相談窓口」を設置し支援しました。 雪害融資実績 14件 106百万円 ・間伐材の有効利用と林業の活性化を目的に、バイオマス発電所の燃料として、森林育成事業協同組が木質チップ生産事業を開始することとなり支援しました。 ・群馬がん治療技術地域活性化総合特区（がん特区）の指定とともに「総合特区支援利子補給金制度」 | |

| | 具 体 的 取 り 組 み 策 | 進 捗 状 況 | 備 考 |
|--|---|---|-----|
| | | 2 5 年 度 実 績 | |
| <p>(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 税理士による税務相談 ・ 金庫職員等による金融知識の普及 ・ 交通安全指導の実施 ・ 町内道路清掃活動への参加 ・ 地方公共団体等によるイベントや地元の祭典への積極参加 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎週木曜日に本店で実施している税理士による無料税務相談を継続して実施していく。 ・ 金庫営業地域の小学生を対象にした金融知識の普及のための講話を行っていく。 ・ 登校時間に通学路の横断歩道に立ち、旗による誘導をし、子供たちの交通安全に寄与していく。 ・ 休日町内一斉に実施される道路清掃活動に積極的に参加する。 ・ 地方公共団体や中小企業団体等の地域的・広域的なイベントや渋川市の“へそ祭り”をはじめ各営業店所在地の祭典等に積極的に参加していく。 | <p>取扱金融機関となりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改正不動産特定共同事業法に基づく事業及び耐震・環境不動産形成促進事業について、活用を促進するため国土交通省等とパートナー協定を締結しました。 ・ 25年度の相談内容は、相続税 13 件、贈与税 17 件、源泉税 6 件、消費税 2 件、所得税 16 件、譲渡 12 件、他 18 件、合計 84 件でした。 ・ 平成 26 年 1 月、外部機関より講師を招き、地域の小学校にて金融知識の普及のための講話「学ぼう教室」を行いました。 ・ 継続的に実施しています。幸い横断旗誘導付近での交通事故は発生しておらず、地域の父兄や小中学校からは感謝されています。なお、この取組みが評価され、星野交通安全教育基金運営委員会から感謝状をいただきました。 ・ 多くの職員を参加させるなど地域の道路周辺美化に積極的に参加しています。 ・ 「渋川へそ祭り」など、一企業として参加する祭典では、地域住民の方々からは、そろいのゆかたや法被が定評となっており、当金庫の参加を期待されています。また、群馬県民マラソンにボランテ | |

| | 具体的取り組み策 | 進捗状況 | 備考 |
|--|--|--|----|
| | | 25年度実績 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店の高齢者等対応店舗への改装 ・ 認知症サポーターによる支援充実 ・ がん検診普及のピンクリボン運動の実施。 ・ 全店へのAEDの設置 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等の利便性向上を図るため、スロープやバリアフリー等の対応を検討していく。 ・ 役職員が修得した認知症サポーターとしての知識を実践していくことによりお客さま支援及び満足度の向上に継続的に取り組む。 ・ がん検診の普及を目的としてピンクリボン運動を実施していく。 ・ ご来店いただいたお客さまに万が一の事態が発生した場合には、迅速かつ効果的な救命措置を行うため全店にAEDを設置する。 | <p>イアスタッフとして参加したほか、平成26年4月20日に開催予定の前橋・渋川シティマラソンにもボランティアスタッフとして33名が参加する予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚障がい者の方の利便性向上を図るため、1店舗に手すりを設置しました。また、耳の不自由な方や外国からのお客さまでも安心してご来店、お取引ができるよう「筆談ボード」及び「コミュニケーションボード」を全店に設置しました。 ・ お客さま支援及び満足度の向上のため、各営業店において認知症サポーターとしての知識を実践しています。 ・ 女性職員全員でピンクリボンバッヂを制服に着けて、がん検診等の受診率向上に努めています。 ・ 生命保険会社主催による「群馬大学重粒子線がん治療施設見学会」に職員を8名参加させ、最新医療の実態とがんに対する知識を深めました。 ・ 地域のお客さまに安心してご来店いただけるよう、平成25年9月には全店にAEDを設置しました。また、使用方法や訓練を含めた研修会を行いました。 | |
| <p>3.お客さまや地域の皆さまへの積極的な情報発信・意見の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 当金庫の経営情報や地域密着型金融の取り組み状況、リスク管 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域密着型金融の取り組み状況、リスク管理態勢、 | |

| | 具 体 的 取 り 組 み 策 | 進 捗 状 況 | 備 考 |
|--|--|--|-----|
| | | 2 5 年 度 実 績 | |
| <p>融の取組み等に関して、地域の皆さまに積極的に情報発信</p> <p>・お客さまのご意見の反映等</p> | <p>理態勢、コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて発信していく。</p> <p>・各営業店での日々の活動から得ることのできるお客さまの要望等を本部、営業店で共通の情報として把握することにより適切でニーズに合った提案を行う。</p> <p>・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていく。</p> | <p>コンプライアンス態勢の強化とそれらに関連する情報を、ディスクロージャー誌・きたしんホームページなどを通じて積極的に情報発信しました。</p> <p>・日常の営業活動やしんきん会等を通じて更にお客さまの情報収集に努めました。</p> <p>・頂いたご意見・ご要望は可能な限り経営に反映させていただきます。</p> | |